

2026 年度 大学院秋季・春季入試（中国言語文化学専攻）

博士課程（後期）

専攻科目 中国言語文化学

【合否判定の方法】

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性をはじめ、専攻分野における高度な専門性に基づく判断力・分析力、ならびに博士論文作成能力を有しているかを審査する。

1 試験日（秋季）2025 年 10 月 11 日

（春季）2026 年 2 月 13 日

2 科目 専門科目（200 点満点）

中国言語文化学

3 出題意図

問 1・問 2 は本専攻博士課程後期課程のアドミッション・ポリシーに基づき、中国言語文化学専攻博士課程後期課程に相応しい高度な中国語運用能力があるかを確認する。問 1 は言語学や中国語学、中国文学に関する文献・資料の読解力を測る。問 2 は中国言語文化学専攻の専門分野における日本語文献・資料に対する十分な読解能力があるか、さらに理解した内容を中国語で正確に表現できるかを問う。

※問 1・問 2 は著作権の関係で模範解答の掲載はできない

問 3 も本専攻博士課程後期課程のアドミッション・ポリシーに基づき、中国言語文化学の専門分野の範囲から前期課程修了レベルの論述問題を提出する。具体的には、文法論、認知言語学、音韻学、古典語文法、近代日中語彙交流史等に関する論述を求める。受験者は設定されたテーマの中から最も得意とするテーマを選び、論述のポイントを的確に絞り、かつ論理的に自分の観点を述べ、論文を作成する能力を十分に有するかを問う。

採点ポイント：

1. テーマに関する基本的な知識を踏まえているか。
2. 限られた文字数の中でどのようにポイントを絞っているか。
3. 論理的であるか。
4. 応用、発展的記述を行えるか。

※小論文なので、模範解答はなし。

※著作権の関係で過去問題の掲載はできない。

以上